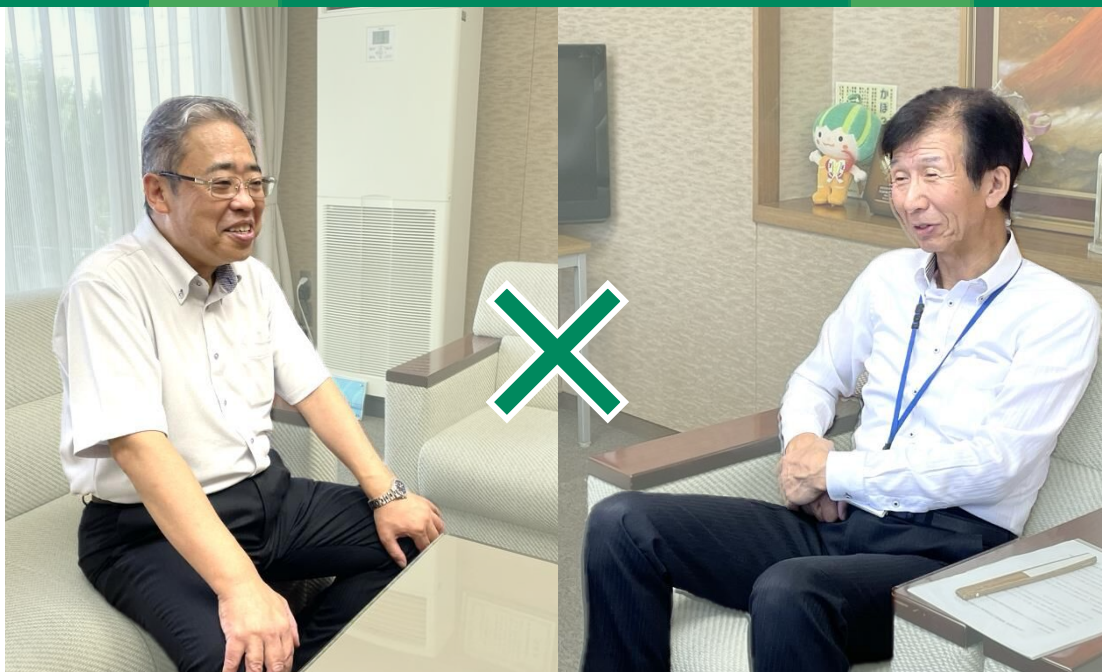


農の力で地域を照らす！ ～名古屋市天白区の豊かな恵みを知る～

区長
水野一裕

天白区役所



天白信用農業協同組合
組合長
村瀬秀美

天白信用農業組合 組合長である村瀬秀美氏と天白区長 水野一裕が、天白区の農業の魅力やその可能性について語り合う対談を行いました。天白区の農業のすばらしさや地域の食文化・生活を支える農の存在感・重要性、天白区の農の“これから”をお届けします。

JA天白信用グリーンセンター を視察して

区長 平日にもかかわらず、開店前からたくさんの方が並んでいらっしゃいました。すごく活気がありますね。店頭にはたくさんの夏野菜が並んでいて感心しました。

組合長 いつも開店から1時間ほどで8割くらいの野菜は売れてしまいます。皆さんに1日中営業してほしいと要望をいただくほどの人気ぶりです。今の時期はきゅうりが一番人気です。夏野菜は夏バテ防止になるので、暑い時期には必須だと思っています。

区長 農家の方の名前で野菜を買われる方がいると聞きました。店内には農家の方の顔写真もありましたが、生産者の顔が見えることで、お客さまも安心して野菜を食べられますね。

組合長 グリーンセンターに来られる方は、「この農家さんが作る野菜はおいしい」ということで、味で選ばれることも多いようです。



グリーンセンターを視察する水野区長(右)とJA天白信用の村瀬組合長(左)、近藤経済課長(中央)

区長 新鮮で立派な野菜がたくさん販売されていますが、価格がとても安いことに驚きました。

組合長 野菜の価格は、農家さんがあまり上げたがらないんです。兼業農家の方も多いので、価格はあまり気にされていなくて、安く提供したいようです。政府もいろいろと考えているみたいですが、野菜の最低価格みたいなのを決めていただけると良いのですが。

区長 社会全体と比較すると厳しいですね。経済や社会の事を考えると、か

かった労力やコストは全て価格転嫁できる仕組みになると良いですね。



グリーンセンターで説明を受ける水野区長(右)

JA天白信用が取り組む地域の農業の支援

組合長 新規就農者の育成・確保、担い手の支援を目的として、6年ほど前から農業塾というのをやっています。年に2回ほど講師を招いて、座学で野菜の育て方についてご講演をいただいています。数年前から、前組合長から空いている畑をお借りして、実地で野菜を育てたりもしています。塾生の講師の先生が週に1回ほど畑に行っているみたいです。

区長 実地でやれるのはとてもいいですね。天白区役所前の植え込みで「くりあじかぼちゃ」や「八事五寸にんじん」を育てていますが、それも区内の農家さんのアドバイスを受けながら育てています。実地で一度ご指南いただくと、なかなか忘れないのでとても効果的だと思います。

組合長 農業の安全使用講習会や農業機器購入の助成制度、レンタル農機などにも取り組んでいます。レンタル農機は使用説明会なども開催していて、草刈り機や耕運機などを多くの方に利用していただいております。

農業普及への取り組み

組合長 少し前にInstagramを始めました。グリーンセンターでどんな野菜を販売しているか情報を発信しています。まずはいろんな人に知ってもらうことが大事だと思っています。ただ、Instagramはなかなかフォロワー数が伸びていないですね。他にも、農業収穫体験を年に2回くらい、サツマイモ掘りやトウモロコシの収穫などを行っています。収穫体験は募集すると申し込みが殺到して、子連れの家族にもたくさんご参加いただいております。

区長 実際に体験ができるというのは非常に貴重な経験で一生ものだと思います。親御さんも子どもにそんな体験をさせたくて申し込まれるんだと思います。

組合長 農業まつりや区民まつりで農産物の即売会を開催しています。地元の農産物を販売して、天白区の農業についてPRしています。また、区の特産野菜である「八事五寸にんじん」や「くりあじかぼちゃ」のチップスの開発・販売にも取り組んでいます。天白区でとれる野菜を多くの市民に知ってほしいですし、その魅力を発信する取り組みをこれからも広げていきたいです。



「天白区のオリーブオイル」

組合長 高齢の農家さんからは手間のかからないものなら農業を続けることができると思われます。そういった話を踏まえて、今オリーブに挑戦しています。鳥や虫もよらないし気温も気になくてよい。温暖化の中にあってはむしろ育てやすいみたいです。日本では小豆島(香川県)がオリーブの栽培が盛んで有名ですが、今度農家さんを連れて視察に行こうかという話も出ています。

区長 オリーブオイルと聞くと、なんとなくおしゃれなイメージがありますね。美容や健康にも良いと言われているようですし。「天白のオリーブ」みたいな形でブランド化できたら素敵だと思います。

組合長 いつかは、ここのグリーンセンターの店頭で販売できるといいなと思っています。ただ、木を植えてから実が生るまでに5年ほどかかるみたいです。まだ年数はかかりそうですが、気長に頑張ろうと思います。

区長 とても夢のある話ですね。



農家のなり手・担い手確保のために

区長 今、若い人たちの間で、3Yといって「やりがいがある」「役に立つ」「夢がある」ということで、農業に対して関心を持っている人がたくさんいると聞きます。企業に入ってある種のしがらみの中で働くのとは違って、自由に展開できるとあって魅力に感じているんだと思います。天白区の農家の状況はどうですか。

組合長 農家のなり手不足の問題は深刻です。農家の数もどんどん減っていて、高齢化も年々進んでいます。農家・農地の維持・保全のためには、次の世代、担い手にうまくバトンタッチしていくことが重要だと思っています。ただ、今までは60歳で定年退職して、その

後は親がやっている農業を引き継いでみたいなきっかけが多かったのですが、定年が伸びていくと、70歳から農業というのも体力的につらいというのもあるみたいで、親から子に引き継ぐのも難しいようです。

区長 今、民間企業では副業容認ということが盛んに言われていて、若い人は副業したり転職したりと、いろんな職業を経験する傾向にあります。その副業の中に「農業」というのが入ってくるといいですね。区役所の職員からも、「休みの日には親の畑を手伝っている」ということを聞いたことがあります。体を動かすとすっきりするし、気持ちの切り替えもできるし、そういう意味で土に触れるというのはとても良いのだと思います。そういうニーズに応えるために、農に気軽に参加できる場所がたくさんあるといいですね。

組合長 最近は「貸し農園」に力を入れています。1坪農園なので誰でも気軽に農業を始められると思います。今は区内に一つだけありますが、今後は民間企業の力も借りながら増やしていきたいです。

区長 そういう場で、「畑をちょっとやってみたいな」という人に体験してもらって、そこから本格的に農業やってみようかというところに広がっていくといいですね。



対談を終えた、村瀬組合長(左)と水野区長(右)

区長 今後も、天白区の農業を盛り上げるために協力して頑張っていきたいと思います。

天白区役所はこれからも
農の魅力発信・向上に
取り組んでいくよ！

